



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
 コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 橋本 義徳  
 経営企画グループ担当

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,212	△5.7	181	△25.8	173	△27.4	87	△47.8
26年3月期第1四半期	8,708	△2.5	244	8.6	239	10.4	167	8.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 102百万円 (△38.3%) 26年3月期第1四半期 165百万円 (41.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	13.67	—
26年3月期第1四半期	25.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	15,965	4,345	27.2	681.98
26年3月期	15,342	4,332	28.2	676.67

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,345百万円 26年3月期 4,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,950	1.7	530	1.7	515	0.4	340	1.9	52.70
通期	32,500	2.0	460	2.2	450	3.8	250	2.9	38.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,747,624 株	26年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	375,588 株	26年3月期	345,588 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	6,394,048 株	26年3月期1Q	6,495,914 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により企業収益や個人消費に改善がみられ、全体としては緩やかな回復基調となりました。しかしながら、消費税率の引上げによる消費マインドの低下に加え、原材料価格の高騰や電気料金の値上げ等により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、過剰な設置・取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下などにより、業界再編が一段と加速しております。また、本年4月からの消費税率の引上げを機に、自販機産業はこれまでの設置拡大競争から大きく方向転換し、環境との調和を重視し社会性を高める事業への転換が強く求められております。

飲料製造事業におきましては、生産過程での原材料や燃料・電力料金の値上げ等により、経営環境はより厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社グループでは引き続き積極的かつ政策的に自販機のリプレースを進めて効率化を図るとともに、フルライン自販機の推進により過剰に設置された自販機の集約化を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,212百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益181百万円（同25.8%減）、経常利益173百万円（同27.4%減）、四半期純利益87百万円（同47.8%減）となりました。

なお、平成26年7月22日に、飲料製造事業のグローバル化を目的としてベトナムのハロンビール&ビバレッジ社の株式をカールスバーグ社より取得するため、株式譲渡契約を締結いたしました。今後は当社グループが国内で培った酒類及び飲料製造のノウハウとハロンビール&ビバレッジ社が保有する販売チャネルやネットワークを相互利用し、ベトナム国内はもとより、東南アジアをターゲットとしてビール・酒類及び清涼飲料市場を開拓してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

## ① 自販機運営リテイル事業

本年4月からの消費税率の引上げに伴い、業界全体では自販機の販売価格へ消費税を転嫁することを基本方針といたしました。しかしながら、自販機が隣接して競合するロケーションを中心に、各社の価格改定については足並みが乱れているのが現状であります。このような状況のなか、当社グループでは当初の基本方針通り、価格改定による消費税の適正な転嫁を進めました。また、引き続き消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」の推進と自社ブランド商品の育成に取り組みました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は4,947百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は128百万円（同3.6%増）となりました。

## ② 飲料製造事業

飲料製造業界は原材料価格の高騰や電気料金の値上げ等に加え、消費税率の引上げによる駆け込み需要の反動により厳しい経営環境となりました。このような状況のなか、健康飲料やエナジー飲料等の高付加価値製品の製造を強化するとともに、仕入調達の見直しや物流経費の削減等により利益率の向上を図っております。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,167百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント利益は113百万円（同37.3%減）となりました。

## ③ 飲料サービスシステム事業

遊技人口の長期的な減少傾向には大きな変化はみられず、ホールの経営環境は引き続き厳しい状況にあります。このような状況のなか、遊技場等のお客様に対して、カップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオゾンズ・カードシステム」の導入強化を図りました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は76百万円（前年同四半期比19.1%減）、セグメント利益は11百万円（同40.5%増）となりました。

## ④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は21百万円（前年同四半期比52.1%増）、セグメント利益は33百万円（同12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、6,804百万円となり、前連結会計年度末に比べ778百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加197百万円、受取手形及び売掛金の増加286百万円、商品及び製品の増加355百万円及び前払費用の減少23百万円等によるものです。また、固定資産は9,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ、155百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少40百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少22百万円、リース資産(純額)の減少17百万円、のれんの減少20百万円、長期前払費用の減少20百万円及び繰延税金資産の減少40百万円等によるものです。

この結果、総資産は15,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ623百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ922百万円増加いたしました。これは買掛金の増加814百万円及び未払金の増加108百万円等によるものです。また、固定負債は2,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ313百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少277百万円及びリース債務の減少25百万円等によるものです。

この結果、負債合計は11,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ609百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは四半期純利益による増加87百万円、自己株式の取得による減少37百万円、剰余金の配当による減少51百万円及びその他有価証券評価差額金の増加15百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は27.2% (前連結会計年度末は28.2%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,105,080	1,302,142
受取手形及び売掛金	1,967,477	2,254,410
商品及び製品	1,230,648	1,586,057
仕掛品	150	—
原材料及び貯蔵品	227,446	241,853
前払費用	799,281	775,670
繰延税金資産	103,274	111,272
その他	594,669	536,462
貸倒引当金	△2,572	△3,431
流動資産合計	6,025,455	6,804,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,145,627	1,104,966
機械装置及び運搬具(純額)	450,053	428,018
工具、器具及び備品(純額)	26,025	24,403
土地	3,775,013	3,775,013
リース資産(純額)	1,169,408	1,152,127
建設仮勘定	17,792	19,905
有形固定資産合計	6,583,920	6,504,436
無形固定資産		
のれん	427,579	406,662
リース資産	30,854	27,845
その他	37,725	37,286
無形固定資産合計	496,159	471,795
投資その他の資産		
投資有価証券	648,869	661,626
長期貸付金	29,846	29,490
長期前払費用	853,570	833,495
繰延税金資産	201,008	160,333
その他	543,553	539,256
貸倒引当金	△40,288	△39,687
投資その他の資産合計	2,236,559	2,184,516
固定資産合計	9,316,640	9,160,747
資産合計	15,342,095	15,965,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,625,581	3,439,694
短期借入金	2,180,000	2,080,000
1年内返済予定の長期借入金	858,720	909,520
リース債務	372,290	380,275
未払金	881,870	990,062
未払法人税等	114,423	42,880
未払消費税等	44,695	98,070
繰延税金負債	50	153
賞与引当金	133,170	48,335
その他	547,463	692,089
流動負債合計	7,758,266	8,681,081
固定負債		
長期借入金	1,857,634	1,580,454
リース債務	933,169	907,323
再評価に係る繰延税金負債	40,019	40,019
役員退職慰労引当金	132,542	132,242
退職給付に係る負債	135,475	133,473
資産除去債務	2,800	2,800
その他	150,108	142,183
固定負債合計	3,251,749	2,938,496
負債合計	11,010,015	11,619,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,350,297	3,386,497
自己株式	△302,210	△339,875
株主資本合計	4,859,337	4,857,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,263	33,885
土地再評価差額金	△547,392	△547,392
為替換算調整勘定	2,474	1,693
退職給付に係る調整累計額	△602	△451
その他の包括利益累計額合計	△527,257	△512,265
純資産合計	4,332,080	4,345,607
負債純資産合計	15,342,095	15,965,185

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,708,842	8,212,612
売上原価	5,730,686	5,382,723
売上総利益	2,978,155	2,829,889
販売費及び一般管理費	2,733,462	2,648,333
営業利益	244,693	181,555
営業外収益		
受取利息	1,502	1,758
受取配当金	4,023	4,572
不動産賃貸料	1,444	2,076
受取賃貸料	4,479	3,178
受取保険金	791	368
受取補償金	1,177	—
その他	5,852	6,101
営業外収益合計	19,272	18,055
営業外費用		
支払利息	19,631	19,817
その他	4,853	5,873
営業外費用合計	24,485	25,691
経常利益	239,480	173,919
特別損失		
固定資産除却損	166	18,840
投資有価証券評価損	683	—
特別損失合計	850	18,840
税金等調整前四半期純利益	238,630	155,079
法人税、住民税及び事業税	86,936	38,194
法人税等調整額	△15,628	29,469
法人税等合計	71,308	67,663
少数株主損益調整前四半期純利益	167,321	87,416
四半期純利益	167,321	87,416



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167,321	87,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,608	15,622
為替換算調整勘定	886	△780
退職給付に係る調整額	—	150
その他の包括利益合計	△1,721	14,992
四半期包括利益	165,600	102,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,600	102,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,144,423	3,455,590	94,914	13,913	8,708,842	-	8,708,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,437	193,540	499	40,261	254,739	△254,739	-
計	5,164,861	3,649,131	95,414	54,174	8,963,581	△254,739	8,708,842
セグメント利益	123,710	181,313	8,447	29,998	343,470	△98,776	244,693

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,776千円には、セグメント間取引消去△1,340千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△94,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,947,055	3,167,575	76,825	21,155	8,212,612	-	8,212,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,465	171,484	353	37,794	226,098	△226,098	-
計	4,963,521	3,339,060	77,178	58,950	8,438,711	△226,098	8,212,612
セグメント利益	128,149	113,672	11,867	33,777	287,467	△105,911	181,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,911千円には、セグメント間取引消去745千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△104,149千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。